

【大学間協定留学】 留学報告書

| 記入日 | 2025年1月6日 |
|--|--|
| 明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等 | 政治経済学部 |
| 留学(渡航)した時の学年 | 2年生 |
| 帰国年月日 | 2025年1月2日 |
| 明治大学卒業予定年月 | 2027年3月 |
| 留学先大学について | |
| 留学先国 | カナダ |
| 留学先大学 | ヨーク大学(日本語名) York university(現地言語名) |
| 現地使用言語/ 授業使用言語 | 英語/英語 |
| 留学期間 | 2024年8月~2025年1月 |
| 留学先大学で在籍した学年 | 2年生 |
| 留学先の所属学部等 | <input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名: 国際教養学部 現地言語での名称: Liberal arts & Professional Studies <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他: |
| 形態 | <input type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input checked="" type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他: |
| 学年暦 ※記入例: 1 学期: 4月上旬~7月下旬 2 学期: 9月中旬~2月上旬 | 1 学期: 9月上旬~12月下旬 2 学期: ~ 3 学期: ~ 4 学期: ~ |
| 学生数 | 約 55,000 |
| 創立年 | 1960年 |

| 留学費用 | | | |
|-------------------|--|-------------|---|
| 留学費用項目 | A 現地通貨 (カナダドル) (1 現地通貨 = 110 円) | B 日本円 | 備考 |
| 授業料 | 0 | 0 円 | |
| 宿舍費 | 4,283 | 471,160 円 | |
| 食費 | 3,000 | 330,021 円 | |
| 図書費 | 150 | 16,501 円 | |
| 学用品費 | 0 | 0 円 | |
| 携帯・インターネット費 | 175 | 19,251 円 | |
| 現地交通費 | 100 | 11,000 円 | (<input checked="" type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車) |
| 教養娯楽費 | 500 | 55,000 円 | |
| 旅費(留学中) | 2500 | 275,017 円 | |
| 被服費 | 100 | 11,000 円 | |
| 医療費 | 0 | 0 円 | |
| 保険費 | 717 | 78,875 円 | 形態: 明治大学: 46,760 円 York: 292\$ |
| 渡航旅費 | 2900 | 319,020 円 | |
| ビザ申請費 | 63 | 6,930 円 | |
| 雑費 | | 円 | |
| その他 | | 円 | |
| その他 | | 円 | |
| 合計 ※現地通貨 および 円 | 14,488 (=1,593,781 円) | 1,593,781 円 | |
| 総計(A+B) ※円 | | 1,593,781 円 | |

※現地通貨で支払ったものは「A 現地通貨」の欄に、日本円で支払ったものは「B 日本円」の欄に記入し、総計も記入してください。

※現地通貨名、現地通貨と円の為替レートも必ず記入してください。

渡航関連

渡航経路

往路 出発地：成田空港 目的地：トロント・ピアソン空港 経由地：

復路 出発地：トロント・ピアソン空港 目的地：成田空港 経由地：

渡航費用

① 往復チケットを購入した場合
航空会社：Air Canada
料金：319,020 円

② 片道ずつチケットを購入した場合
往路 航空会社： 料金：
復路 航空会社： 料金： ∴合計：

航空券購入方法

- 旅行代理店(店名：)
- インターネット(サイト名：Booking.com)
- その他()

滞在形態関連

1) 種類(留学中の滞在先)(例：アパート、大学の宿舎等)

学生寮(寮の名前：Founders residence) アパート ホームステイ

2) 部屋の形態

個室 相部屋(同居人数)

3) 共有部分

バス トイレ キッチン(自炊可 自炊不可)

4) 住居を探した方法：

送られてくるメールから大学側のサイトに飛び、希望情報や個人情報を載せました。

5) 感想：(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

大学が管理している寮の中で最も古く、設備もあまり整っていませんでした。暖房も壊れていたもので、防寒対策は必須です。

現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。

(例: 現地の病院、学内の診療所)

なし

あり (治療を受けた場所:)

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

なし

あり (問題の内容や相談した人等:)

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

在留届を提出し、何か危険情報があった場合は外務省から連絡が来ました。

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWIFI接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

寮内のインターネットは基本的に不安定でした。校舎内では快適に繋がりました。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか?

(例: 現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

出発前に日本で換金した現金と、クレジットカードを2枚持って行きました。現地ではクレジットカードを使う機会が多かったので現金はほとんど使いませんでした。クレジットカード1枚が途中で不正利用の疑いで止まってしまったので、クレジットカードは2枚用意することをおすすめします。

6) 現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えてください。

ポケットティッシュが手に入りづらいので日本から持っていくのがおすすめです。

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

| | | |
|---|--|---|
| 1) 留学先で取得した単位数合計 | | 本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。 |
| 単位 | <input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:) | |
| 2) 履修登録の時期・方法及び履修制限 | | |
| <input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() <input checked="" type="checkbox"/> 履修の制限があった: | | |
| 3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。 | | |
| 履修した授業科目名(留学先大学言語) | | 履修した授業科目名(日本語) |
| Global Political Economy I | | 国際政治経済 |
| 科目設置学部・研究科 | AP/POLS | |
| 履修期間 | Fall | |
| 単位数 | 3.00 | |
| 本学での単位認定状況 | 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい) | |
| 授業形態 | 講義形式(チュートリアル、講義形式等) | |
| 授業時間数 | 1 週間に 180 分が 1 回 | |
| 担当教授 | Hannes P Lacher | |
| 授業内容 | 国際経済関係の政治に関わるアクター、プロセス、問題を検討し、経済発展のプロセスと権力、支配、覇権のグローバルなパターンとの動的な関係を探ります。19 世紀と 20 世紀における世界秩序の形成に関するグローバルな視点を学びます。資本主義世界経済の形成と現代の国際システムに焦点を当てます。 | |
| 試験・課題等 | 毎週の小テスト 中間テスト 期末テスト | |
| 感想を自由記入 | 経済学科なので普段あまり政治を勉強する機会が少なかったため、新鮮で非常に興味深かったです。ただし、講義内容を理解するのに苦労したこともありました。特に、テストやリーディング課題は非常に難しかったです。それでも、世界秩序の形成や資本主義世界経済の発展について深く理解することができ、非常に良い経験となりました。 | |

| 履修した授業科目名(留学先大学言語) | 履修した授業科目名(日本語) |
|--|--|
| Introductory Statistics for Economists I | 経済学者のための統計入門 |
| 科目設置学部・研究科 | AP/ECON |
| 履修期間 | Fall |
| 単位数 | 3.00 |
| 本学での単位認定状況 | 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい) |
| 授業形態 | 講義形式(チュートリアル、講義形式等) |
| 授業時間数 | 1週間に90分が2回 |
| 担当教授 | Ida Ferrara |
| 授業内容 | 統計手法の入門。取り扱うトピックは、記述統計と頻度分布、位置と分散の測定、確率変数、サンプリング分布、確率論と数学的期待値、正規分布、相関、仮説検定の設計と解釈などです。 |
| 試験・課題等 | 小テスト 中間テスト×2 期末テスト |
| 感想を自由記入 | この授業では、統計手法の基本を学びましたが、専門用語の理解に苦労しました。特に、確率論や数学的期待値についての概念は難解で、しっかりと理解するために復習が不可欠でした。記述統計や頻度分布、位置と分散の測定といった基礎的なトピックは理解しやすかったものの、サンプリング分布や正規分布、相関、仮説検定の設計と解釈に関しては、実際のデータを用いた演習を通じて少しずつ理解が深まったと感じました。 |

| 履修した授業科目名(留学先大学言語) | 履修した授業科目名(日本語) |
|-------------------------------|--|
| Risk Management and Insurance | 危機管理と保険 |
| 科目設置学部・研究科 | SC/MATH |
| 履修期間 | Fall |
| 単位数 | 3.00 |
| 本学での単位認定状況 | 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい) |
| 授業形態 | 講義形式(チュートリアル、講義形式等) |
| 授業時間数 | 1週間に180分が1回 |
| 担当教授 | Rubie Ling |
| 授業内容 | リスクの概念とその管理方法を扱い、企業、個人、社会におけるリスク管理の一般的な枠組みを探求し、リスク移転手段としての保険の役割に焦点を当てます。特に、金融市場に関連するリスクや、企業の運営、規制、デジタルトランスフォーメーション、環境や災害の影響に起因するリスク(非金融リスク)を分類・研究します。授業は、講義と2週間ごとに保険会社のCEOなどの専門家から話を聞くことができます。 |
| 試験・課題等 | 小テスト×2 グループプロジェクト 中間テスト 期末テスト |
| 感想を自由記入 | この授業ではリスクとその危機管理について学習しました。2週間に1度行われる専門家からの講義は貴重な話を聞くことができとても面白かったです。グループプロジェクトの発表もとても良い経験になりました。 |

| 履修した授業科目名(留学先大学言語) | 履修した授業科目名(日本語) |
|------------------------------|--|
| Advancing Oral Communication | 口頭コミュニケーションの上達 |
| 科目設置学部・研究科 | Department of Languages, Literatures & Linguistics/ESL |
| 履修期間 | Fall |
| 単位数 | 3.00 |
| 本学での単位認定状況 | 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい) |
| 授業形態 | チュートリアル(チュートリアル、講義形式等) |
| 授業時間数 | 1週間に180分が1回 |
| 担当教授 | Mansour Safdari |
| 授業内容 | 英語でのグループや個人との対話、フォーマルおよびインフォーマルなプレゼンテーション技法に焦点を当てます。様々な学術的、職業的、社会的な文脈での効果的な口頭コミュニケーションのための理論と実践を学びます。 |
| 試験・課題等 | スピーチ×4 プレゼン(個人) グループプロジェクト |
| 感想を自由記入 | この授業は英語を第二言語とする人たちだけが履修することのできる授業でした。履修しているほとんどの学生は既に英語が流暢で、ついていくのが少し大変でした。スピーチやプレゼンが多くあり、大変な部分も多かったですが、他の学生と交流する時間が多くありました。 |

| 履修した授業科目名(留学先大学言語) | 履修した授業科目名(日本語) |
|---------------------------------------|---|
| Introductory Mathematical Economics I | 数理経済学入門 |
| 科目設置学部・研究科 | AP/ECON |
| 履修期間 | Fall |
| 単位数 | 3.00 |
| 本学での単位認定状況 | 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい) |
| 授業形態 | 講義形式(チュートリアル、講義形式等) |
| 授業時間数 | 1週間に90分が2回 |
| 担当教授 | J Barry Smith |
| 授業内容 | 経済学における基本的な概念や問題を取り上げ、それに関連する数学的な技法を学びます。例えば、需要量を価格の関数として表し、収入を最大化する価格を求める方法を学びます。さまざまな一変数関数に関連するトピックを取り扱います。 |
| 試験・課題等 | 中間テスト×3 期末テスト |
| 感想を自由記入 | 授業に加えて補講も何度かありました。毎月中間テストがあり、内容も難しかったため、毎週の予習、復習は必須でした。 |

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記2以降は記入不要)

就職 進学 未定 その他:

1) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。
(例: 留学中の就職活動に向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。)
就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。
ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。
就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先確保、留学中の中間試験・期末試験、その他イベント等)

| | | |
|----------|---------|--------------------|
| 留学開始年の前年 | 1月～3月 | |
| | 4月～7月 | |
| | 8月～9月 | 試験勉強 |
| | 10月～12月 | 選考 |
| 留学開始年 | 1月～3月 | |
| | 4月～7月 | ビザ申請・取得、航空券購入、寮の申請 |
| | 8月～9月 | 渡航 |
| | 10月～12月 | 留学中 |
| 留学/帰国年 | 1月～3月 | 帰国 |
| | 4月～7月 | |
| | 8月～9月 | |
| | 10月～12月 | |

留学を志す学生へのアドバイス

※ これから留学を志す学生へ、この留学先国・大学を選んだ理由、留学生生活全般等について、アドバイスを記入してください。

ヨーク大学での留学はとても貴重な経験となりました。ヨーク大学を選んだ理由は2つあります。1つ目はカナダという国に一度行ってみたいかったこと、2つ目はカナダには多様な人種があり、様々なバックグラウンドを持つ学生と交流できる点です。学生との交流を通じて、新たな視点や考え方を手に入れることができました。

留学生生活は想像していた以上に大変でした。授業では毎週小テストやリーディング課題が出されるほか、中間テストも毎月あり、予習と復習は必須でした。授業中には積極的な発言が求められましたが、ついていくのが精一杯で発言できずに悔しい思いをすることもありました。大変なことも多かった分、グループプロジェクトやプレゼンをやり切った時の達成感は非常に大きかったです。語学力だけでなく、人間的にも大きく成長できました。授業だけでなく、休みの日には友人とバスケットをするなどして、多くの学生と交友を深めました。

私は一人暮らし自体が初めてだったため、留学生生活の初期には慣れないことも多くありました。友人ができるまでは辛く感じることもありましたが、大変なことも含めて毎日が充実していました。寮生活も初だったので最初は緊張しました。寮では定期的にパーティーが開催されていましたが、すべてに参加することができなかったのが少し心残りです。留学は準備から終わりまで大変なことが多いですが、その代わりに海外でしかできない貴重な経験ができます。海外に行つて改めて気づく日本の良い部分もあります。留学は容易な挑戦ではありませんが、新しい環境で自分を成長させる絶好の機会です。ぜひ、迷っているならば挑戦してみるのが良いと思います。